

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
群馬県前橋市元総社町七三-15
TEL 027-2555-3434
FAX 027-2555-3435
<http://www.neues-asahi.jp>

この夏にオープンした朝日印刷の店舗(前橋中央通り沿いのドイツpus朝日前橋まちなか店)は、当社スタッフが交代で駐在しているので、私も週に一度ほどそちらに向いて仕事をしています。

私が高校生の頃までは、中央通りといえはわざわざ自転車を降りて歩いて歩くほど人がたくさん行き来していました。煥乎堂と西武とスズラン前はいつも自転車の山で、警備員さんに怒られながら駐輪していました。それから二十年経ち、寂しいシャッター街となった前橋ですが、ここ何年かはチャホラと話題になるような建築物や店舗が増えて、少なからず人の往来が増えているのを感じます。なかには県外からの移住組もいて、街のこれからの発展に尽力しようと、自らのキャリアを生かして様々な分野で活動しています。

店舗を出す前は少し遠かった前橋のまちなかの動きが、まさに目の前というか一緒に活動していくことができる中で、今まで交わったこともない人たちなのに同じような関心を同じ時に感じてきた人が結構いることを知りました。具体的にはアメリカの「ポートランド」が世界中から注目された時に「前橋も同じような生き残り方ができるのではないか」と感じたことです。またイギリスの「コッツウォルズ地方」も同じような歴史をたどって魅力的に残っている地域だとも思います。つまり、ある時期は世界の最先端から取り残され、個性的な店やアーティストが共存する魅力的な町になる可能性があるということですね。交通網の発達と変換によって取り残された「町」も、かえって画一的な都市開発の影響を受けることなく面白い町になることができるのではないのでしょうか。前橋もクラフトマンシップやDIYの精神、そして地域愛を大切に「まち作り」が始まっています。

子供の教育も個性を伸ばす方向へ転換しているようです。なんでも画一的な目標を目指し真似て成長することは、一斉的な発展にはいい事もあるかもしれませんが、そこから外れた場合の喪失感が深刻になってしまふ場合があります。人も町も、己に合ったコミュニケーションの方法と器で存在できれば、自己も周りも居心地がいいのかもしれない。居心地のいい町・場所を提供できるようなお手伝いをしたいと思っていました。前橋のまちは既に「居心地のいい場所」になりつつあるようです。県外から来て前橋に住む学生から「前橋にずっと住みたい」と聞いた時、とても嬉しく思いました。

そういえば、私が高校生の頃といえば、煥乎堂へ美術書や輸入書を眺めによく行っていたのですが、同じフロアのアートギャラリーの入口から中を覗いていた時に、「どうぞ入って見てみてください。誰でも自由に入って見ていいですよ」と、とっても感じのいい女性に声をかけてもらった記憶があります。なんの展示会かはいずれも思い出せず、どんな人だったかもわかりませんが、ただ感じのいい方の「居心地のいい声」だった記憶が忘れられず残っています。今思えばそれは、現在ノイエスと一緒に働いているMさんだと確信しています！居心地の良い声を聞いて誘われてここまでたどり着きました。ご縁や無意識の繋がりなどの運命は不思議なものです。確かに存在する気がします。そういった繋がりがある町、ご縁を大切にできる町は、きっと素敵な居心地の良い場所になるはずだと思っています。

(橋本)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

※入口で体温と体調とご連絡先を記入していただいています。
マスク着用と手指の消毒も引き続きお願いいたします。

六箇山工房 ガラス3人展

〈企画〉

会期 十一月六日(土)～十四日(日)
午前十時～午後五時
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

樺沢均 陶展

〈企画〉

会期 十一月十七日(水)～二十五日(木)
午前十時～午後五時(最終日は午後四時終了)
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

第13回 フレンチナッツの会

刺しゅう展

会期 十一月二十七日(土)～三十日(火)
午前十時～午後五時(最終日は午後四時終了)
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

〔問い合わせ先〕

代表 矢島あい子

前橋市新前橋町一八-一六



フレンチナッツの会 「パリの街並み」 刺繍

ノイエス朝日 十二月の展覧会予告

斉藤かほる展

会期 十二月四日(土)～十二日(日)

森田修平展

会期 十二月十五日(水)～二十三日(木)

※案内状は次回同封します。

